

製品名: PSGR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00427**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 35 kDa; Observed MW: 35 kDa

抗原情報

遺伝子名	OR51E2
別名	PSGR; HPRAJ; OR52A2; OR51E3P
遺伝子 ID	81285
SwissProt ID	Q9H255
免疫原	抗血清はヒト OR51E2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

背景

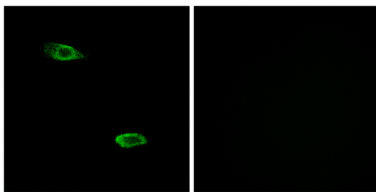
短鎖脂肪酸 (SCFA) の酢酸およびプロピオン酸によって活性化される G タンパク質共役受容体と考えられる。SCFA に反応して、レニン分泌を正に調節し、血圧を上昇させる可能性がある (PubMed:23401498)。また、ステロイドホルモンによって活性化され、

細胞増殖を制御する可能性もある (PubMed:19389702) 。さらに、 β -イオンンによって活性化され、嗅覚受容体として機能する可能性もある (PubMed:19389702) 。

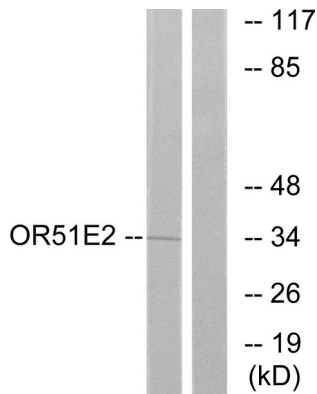
研究分野

神経科学

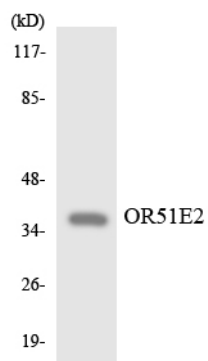
画像データ



A549 における PSGR の PSGR 抗体を用いた免疫蛍光染色。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプル。



PSGR 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の PSGR のウェスタン ブロット分析。右側のレーンは合成ペプチドでブロックされています。



PSGR 抗体を用いた HepG2 溶解液中の PSGR のウェスタンブロット分析